

- 1 日 時 令和2年1月23日(木) 13:30～15:30
- 2 場 所 福島市役所4階庁議室
- 3 出席者 佐藤 滋 委員長、本杉 省三 委員、㊦西田 奈保子 委員、門田 敦嗣 委員、
中村 芳朗 委員、三瓶 章 委員、㊦後藤 忠久 委員、㊦吉田 秀政 委員、大関 宏之 委
員、竹田 有理 委員、齋藤 美佐 委員、山崎 由美 委員、㊦小林 静香 委員
- 4 内 容
 - (1) 開会
 - (2) 議事
 - ① 第4回委員会の振り返りについて
 - ② 施設機能の配置方針(案)等について
 - (3) その他
 - (4) 閉会
- 5 概 要 議事内容について事務局説明後、質疑応答、意見交換

6 委員の主な発言

- 委員長 概要版P1の「はじめに 本計画の位置づけ」に記載のあるとおり、本施設は再開発事業によって整備される複合ビル内に整備されるものであり、本計画は今後の設計を進めるうえで基本的な指針となるものでもある。再開発事業との関係からあまり細部まで示しているものではないが、施設構成や管理運営の方針までまとめたものである。ご質問、ご意見があればお願いします。
- 委 員 概要版P4の断面イメージ図の共用空間は3階の商業までで終わっているイメージだが、実際は4階以上の福島駅前交流・集客拠点施設も含め共用空間を確保することを想定されていると思われるので、P5の平面イメージ図の4階以上にもそれが分かるように位置付けるべきではないか。
- 事務局 現在再開発準備組合と設計協議を進めており、図はあくまで現時点のイメージだと理解していただきたい。今後、再開発準備組合と調整したい。
- 委 員 素案P13の施設コンセプトに、「コンベンション機能の強化を図ることによって交流人口等を拡大し・・・」、とあるが交流人口だけでなく「関係人口」を拡大していくことも追記すべきではないか。また、素案P14の施設整備の基本方針のうち、「一流の芸術に触れる・・・」という表現ではなく、「多彩で豊かな芸術」としたほうがよいのではないか。
- 委員長 ご意見について適切に反映するよう、事務局にお願いします。
- 委 員 再開発事業で整備される駐車場のボリュームについて、イベント開催時には駐車場が不足する場合も想定し、例えば臨時駐車場の確保やシャトルバスの確保などの対策も含めて検討しておく必要がある。また、断面イメージ図・平面イメージ図については人や車両の動線イメージも追記するほうがよいのではないか。
- 事務局 駐車場のボリューム及び動線については、再開発事業全体での調整事項であり、再開発準備組合と引き続き検討を進めていく。

- 委員 概要版P5の平面イメージ図について、福島駅前交流・集客拠点施設と駐車場の間、また、駐車場と分譲住宅の間にある白色の表示箇所はどのようなイメージを想定しているのか。
- 事務局 福島駅前交流・集客拠点施設と駐車場の間は、歩行者の動線を確保したい。また、分譲住宅は分棟を想定しており、分譲住宅と駐車場の間は歩行者の動線とはなるものの、現段階では施設利用者の動線としては具体的に想定していない。
- 委員 大ホールは、客席数を柔軟に変更できるようにしていただきたいが、例えば2階席で間仕切り等を行った際にもピンスポットなどを通常どおり利用できるように、また残響への影響に配慮していただきたい。また、楽屋はすべて舞台と同じフロアにしてほしい。楽屋と会議室を兼用する場合でも支障ないと考える。ステージの高さは、低めの机程度の高さにしていただきたい。千鳥配置や平場を何列目までにするかも、重要な検討事項である。施設によっては、全ての座席を千鳥配置している。高齢化に伴って音が聞こえづらくなる人が増えているので、ヒアリンググループシステム等を導入していただきたい。女子トイレの数も多めに配置するなど配慮いただきたい。静音性に関しては空調の音にも配慮していただく必要がある。
- 委員 基本的には今後の設計段階で対応を検討することになる。客席数が変えられるようにすることはできるが、極端に1,500席を半分にするのは難しいと思う。ピンスポット等の技術諸室や席数の仕切り等についても、対応することは可能だが、あまりコストをかけずに課題解決するよう設計段階で工夫が必要。舞台の高さは、客席との一体感という意図で70cmというご指摘かと思うが、この規模のホールでは、客席からの視認性を考慮すると1mくらい必要になると思われる。ヒアリンググループシステムに関する整理は必要であり、車椅子の方や障がい者の方にも配慮した対応を図る必要がある。静音性はNC値15までは要求する必要はないが、複合施設である特性を踏まえ、商業やバンケットなどの他施設機能への振動や騒音及び他施設機能からの振動や騒音がないように検討していく必要はある。必要なトイレ数や空調配置は設計で応えていくべき内容である。
- 委員長 事務局は、基本計画に反映できる部分は対応してください。
- 委員 駐輪場の整備は想定しているか。また、隣接地に整備される医大との境界スペースはどのようなイメージか。できれば、栄町地区の集会場及び祭り用の山車の保管場所の確保に苦慮しているため、そのスペースを栄町地区や福島駅前通り商店街等の地元貢献施設として活用できるようにしていただきたい。
- 事務局 再開発事業として再開発エリア内に駐輪場を計画しているが、規模等は今後検討する予定である。栄町地区の集会場等については基本計画とは別の話として、ご要望として承る。
- 委員 概要版P7の(5)その他について、小さい子どもの子育て中の方にも来ていただくには、授乳室やおむつ交換スペース等についても明記していただきたい。また、防災に関する事項が記載されていないが、どのように考えているのか確認したい。
- 事務局 授乳室等は設計段階で検討していく。防災については、避難経路を十分に検討するとともに駅前立地ということを踏まえ今後検討していく。
- 委員長 上層階にホールを設置するため、先ほどの共用空間の件も含めて、避難経路等については十分に考慮していただきたい。
- 委員 基本計画では景観については触れないのか。ぜひ福島らしい景観を創出してほしい。

- 事務局 基本計画は福島駅前交流・集客拠点施設を対象としているため、景観などの建物全体に係る事項は再開発事業全体のなかで検討していくことになる。ご意見として参考にする。
- 委員 福島市と福島駅前通り商店街振興組合では、駅前通りの景観について3年前に「レトロモダンを基調とした街なみ形成」のコンセプトをもって協定を結んでいるので、再開発事業についてもレトロモダンというコンセプトを重視していただきたい。
- 事務局 今後、県都として、また駅前の顔としても、景観に配慮した設計となるよう、再開発準備組合と協議を行う。
- 委員長 駅前通りの景観を決定付ける重要な建物となるため、景観に十分配慮していただきたい。また、基本計画にも反映してください。
- 委員 基本計画においては、再開発事業で一体的に整備する複合施設という位置付け、意義、市としてのメリットを明確にしておく必要がある。また、概要版P8で目標利用者数を設定しているが、施設の詳細や、管理運営の方向性等これから決まっていく内容も考慮し、柔軟に設定していくことがよいのではないかと。また、概要版P9に記載の自主事業とは、誘致だけではなく、内発的につくり上げる事業という意味でよいか。
- 事務局 再開発事業において本施設を整備する意義等についての表現は改めて検討する。目標利用者数は、市内既存施設の実績や、他市類似施設の状況を参考にした想定値ではあるが、達成するには様々な努力が必要な目標となる数値でもあると考えている。今後、施設の詳細が決まっていく中で、数値の設定については柔軟に対応していく。また、自主事業の考え方については、委員のご指摘のとおりである。
- 委員長 表現等について適切に基本計画に反映すること。
- 委員 共用空間は、単に人が行き交うための空間で終わるのではなく、福島市がどういった場所なのかがわかり、福島市の魅力や歴史を発信できるような空間となるように努力していただきたい。
- 事務局 再開発ビル全体の共用空間であることから、関係者と協議しつつ、本施設単体ではなく、駅前広場や街なか広場などの他機能との連携も含めた全体の中で検討していく。
- 委員 素案P30「本施設の効果的な活用」に「MICE誘致による交流人口拡大の取組」が位置づけてあることに違和感がある。記載内容を含め再検討したほうがよい。MICE組織についての記載があるが、市が目指すことを実現するためにその団体に何をしてほしいかを整理するほうが良い。自主事業の目的について、利用者数拡大とのことだが、稼働率の増加や、ユーザーサービスの観点もあるため、具体的に示したほうがよい。また、搬入等の動線の考え方は、もう少し基本計画で表現しておくほうがよい。
- 事務局 MICE誘致に関する表現については、修正を検討する。自主事業については、もう少し具体的な内容を追記する。動線についても、図示も含めどのように表現するか検討する。
- 委員長 自主事業を何のためにやるのかを含めて整理したほうがよい。動線については記載内容を再検討していただきたい。また、MICE誘致については効果というよりも大前提であるので、再整理すること。なお、枠囲み部分が参考なのか結論なのか統一感がないので、修正すること。

- 委員 施設の役割は鑑賞や発表だけでなく、地域活性化のために何かを生み出していくことが強く求められている。「市民が創造する」施設にふさわしいものとなるよう、大きな位置づけが必要だと考える。
- 委員 創造的活動に関しては重要な視点のため、明記していただきたい。
- 事務局 ご指摘について検討する。
- 委員 福島駅との立体的なつながりについては基本計画に記載することはできないのか。
- 事務局 福島駅とのつながりは重要だと考えているが、本計画は福島駅前交流・集客拠点施設についてまとめたものであり、現段階で表現することは困難である。
- 委員長 次回は、本日の委員会の意見を踏まえ、修正したものについて意見をいただく予定である。その後、市が最終的な計画を作ることとなることから、引き続きよろしく願います。
- 事務局 次回の委員会は2/19（水）15:00～開催予定。